

梁宏正 李力强 孙晓生 吴社泉 梁宏康 ● 主编

SPM

南方出版传媒 广东科技出版社

梁剑波教授疑难病

〔名老中医临床经验传承系列〕

梁剑波，教授，全国著名

中医临床学家，广东省名老中

医，国务院特殊津贴专家。行

医六十余年，临证辨证精确，

理法井然有序，运用经方、时

方、自拟方，不拘一格。对

内、外、妇、儿、五官各科皆

驾轻就熟，尤其对郁证、血

证、中风、癫痫、癌症等疑难

杂病研究颇深。其治病多见奇

效，立起沉痾，海内外求医者

络绎不绝。

验案方 临床应用



梁宏正 李力强 孙晓生 吴社泉 ● 主编

梁剑波教授疑难病

验案

方 临床应用

【名老中医临床经验传承系列】

SPM

南方出版传媒
广东科技出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

梁剑波教授疑难病验案方临床应用 / 梁宏正等主编.
—广州: 广东科技出版社, 2015. 1
(名老中医临床经验传承系列)
ISBN 978-7-5359-5951-5

I. ①梁… II. ①梁… III. ①疑难病—验方—汇编
IV. ①R289. 5

中国版本图书馆CIP数据核字 (2014) 第175551号

梁剑波教授疑难病验案方临床应用

LIANGJIANBO JIAOSHOU YINANBING YANANFANG LINCHUANG YINGYONG

责任编辑: 吕 健

封面设计: 友间文化

责任校对: 谭 曦

责任印制: 罗华之

出版发行: 广东科技出版社

(广州市环市东路水荫路11号 邮政编码: 510075)

<http://www.gdstp.com.cn>

E-mail: gdkjyxb@gdstp.com.cn (营销中心)

E-mail: gdkjzbb@gdstp.com.cn (总编办)

经 销: 广东新华发行集团股份有限公司

排 版: 广州友间文化传播有限公司

印 刷: 广州市至元印刷有限公司

(广州市番禺区南村镇金科生态园4号楼2F)

邮政编码: 511422)

规 格: 889mm×1 194mm 1/32 印张12.75 字数300千

版 次: 2015年1月第1版

2015年1月第1次印刷

定 价: 33.00元

如发现因印装质量问题影响阅读, 请与承印厂联系调换。

编委会



名誉主编 张 文 黄健良 李万逸 吴志扬 周海忠
祝晓忠 陈进军

主 编 梁宏正 李力强 孙晓生 吴社泉 梁宏康

编写人员 （以姓氏笔画为序）

马建东 王晓华 区钰强 文安怡 孔芳丽
叶 垣 叶丹晓 吕 耿 刘丽芬 刘桂英
刘瑞萍 关宇锋 李 臻 李立荣 张云航
张晓娟 陈锦秀 罗建君 周 帅 周 萍
赵劲枝 娄 勍 夏燕华 宾建平 黄小芬
黄美云 黄晓燕 程志生 程毅凡 蔡源辉

梁剑波教授出身医学世家，又精研医术，悬壶广东而蜚声海内外，为岭南当代名医，被评为广东省名老中医，获国务院特殊津贴专家。

梁剑波教授之医，理论全面，兼通伤寒、温病、杂病、妇儿等各科，在临床上善治疑难杂症，其论病精于辨证，屡起沉疴；又结合岭南地方气候特点，开发凉茶保健产品，风行于世。

梁剑波教授之医，又深得传统文化熏陶。他多才多艺，除了医术外，诗文字画篆刻都获行家赞誉。更常以文入医，撰写各种医学论文和中医科普文章，妙趣横生，清雅宜人，广受欢迎，文以辅医，益显其医理贯通。

梁剑波教授离开虽然有9年了，但他的学术思想仍为众多门生弟子传承。现在由他的门人整理其医案，细列病种，详加解析，从中可以学习名医之临证轨范，值得推荐。是为序。

梁剑波

2011年3月17日

前言

梁剑波（1920—2003），字宇澄，出生于中医世家，广东省肇庆市人，原籍新会。广东省名老中医，岭南中医药名家，全国首批名老中医药专家学术经验继承工作指导老师之一，国务院批准享受政府特殊津贴专家，广州中医药大学兼职教授。

梁剑波医德高尚，是深受国内外广大患者尊敬和爱戴的名老中医药专家之一，行医执教60余年，一生在临床一线奋力拼搏，为中医事业振臂疾呼，为振兴中医做出了杰出的贡献，直到生命最后一息。

其日诊病证百余，夜间笔耕不辍，生平学验宏富，著述颇丰，堪为后学之楷模。临证辨证精确，理法方药开严有度，运用经方、时方、自拟方不拘一格，以中病为目的。遣方用药，经验独到，临床疗效令人信服。为此，我们在有关领导支持下，通过努力，将其临床医案整理成集出版，名为《梁剑波教授疑难病验案方临床应用》，以资临床上观摩借鉴。

本书分为上、下两篇。上篇内容主要反映梁剑波学术思想和临证特色，包括妇科临证拾萃、儿科经验介绍、治疗肿瘤心法等内容。下篇内容为梁剑波临证验案选，共收集了180个病例，按内科、妇科、儿科、肿瘤等各类分门，附加按语，突出反映梁剑波60多年来治疗疑难杂病和危重病的临床实践经验和心得体会。所整理的病案虽只为梁剑波丰硕医案中的一部分，然亦可从中管窥其学术思想和临床经验，领略其精粹，对启迪后学有所裨益。

继承和整理老中医药专家学术经验工作是一项长期而艰巨的任务，此次出版《梁剑波教授疑难病验案方临床应用》仅是我们工作中一小部分，限于我们的水平，整理工作中难免存在错漏和不够全面的缺点，诚恳希望得到同行们指正。

编著者

2011年3月

目录

上 篇 梁剑波学术思想和临证特色 / 1

一、严治学，承前启后 / 2

（一）细读书，尊经师古 / 2

（二）勤著述，善于总结 / 4

（三）探规律，指导临床 / 6

（四）贯中西，兼收并蓄 / 7

二、贵整体，尤重脾胃 / 9

（一）临证诊治，重视后天 / 10

（二）调治诸疾，尤善调脾 / 13

三、求本源，长于辨证 / 17

（一）辨证求因，循因索源 / 17

（二）谨守病机，各司其属 / 19

（三）奇难杂病，洞察病机 / 23

(四) 察色决脉, 四诊合参 / 25

四、广立法, 擅遣奇方 / 26

(一) 肿瘤癥瘕, 坚者削之 / 27

(二) 钩体脑炎, 清营退热 / 28

(三) 老年眩晕, 举元建瓴 / 29

(四) 类风湿症, 温阳蠲痹 / 31

(五) 癫狂静躁, 或损或益 / 32

(六) 呃逆久病, 补益心脾 / 33

(七) 治疗糖尿病, 培补脾肾 / 34

(八) 治不孕症, 调冲固任 / 36

(九) 疗慢性病, 善于守方 / 37

(十) 耳鼻喉疾, 遣药精当 / 39

五、力创新, 功效卓宏 / 39

(一) 审证因时制新方 / 40

(二) 中医科研结硕果 / 41

(三) 产品开发拓新路 / 42

(四) 防治病重食疗功 / 43

六、精妇科, 博采众长 / 44

(一) 脾肾为本, 气血为用 / 44

(二) 探求本源, 精于辨证 / 45

(三) 月经病临证经验 / 47

(四) 带下病临证经验 / 52

(五) 妊娠病临证经验 / 53

(六) 产后病临证治验 / 58

(七) 梁剑波教授自拟妇科经验方 / 62



目录

七、辨小儿，独具一格 / 64

- (一) 肝脏辨证，四诊合参 / 66
- (二) 重调脾胃，儿科之本 / 68
- (三) 小儿夏季热治疗经验 / 71
- (四) 小儿秋季腹泻治疗经验 / 75
- (五) 麻疹明辨 / 77
- (六) 疟疾论治 / 79
- (七) 小儿杂病六种管见 / 81

八、治疗肿瘤心法 / 94

- (一) 消化系统肿瘤治疗经验 / 94
- (二) 肺癌治疗经验 / 99
- (三) 脑瘤治疗经验 / 101
- (四) 治疗癌症疼痛心得 / 102

下篇 黎剑波临证经验选 / 107

一、呼吸系统疾病 / 108

- (一) 急性支气管炎(3例) / 108
- (二) 慢性阻塞性肺疾病(2例) / 111
- (三) 支气管哮喘(4例) / 115
- (四) 支气管扩张(2例) / 120

二、循环系统疾病 / 122

- (一) 冠心病(3例) / 122
- (二) 心律失常(3例) / 126
- (三) 风湿性心脏病(2例) / 130

三、消化系统疾病 / 133

- (一) 慢性浅表性胃炎 (2例) / 133
- (二) 胆汁反流性胃炎、食管炎 (2例) / 137
- (三) 胃溃疡 (2例) / 139
- (四) 膈肌痉挛症 (2例) / 142
- (五) 急性胰腺炎 (1例) / 144
- (六) 肠痉挛 (1例) / 145
- (七) 急性阑尾炎 (1例) / 147
- (八) 慢性乙型肝炎 (4例) / 148
- (九) 肝硬化 (3例) / 154
- (十) 急慢性胆囊炎 (2例) / 161
- (十一) 胃神经官能症 (1例) / 163
- (十二) 便秘 (2例) / 164
- (十三) 痢疾 (1例) / 165
- (十四) 胁痛 (1例) / 167

四、泌尿系统疾病 / 169

- (一) 慢性前列腺炎 (1例) / 169
- (二) 慢性肾衰竭 (3例) / 171
- (三) 慢性肾炎 (2例) / 177
- (四) 原发性肾病综合征 (5例) / 180
- (五) IgA肾病 (1例) / 189
- (六) 阴囊湿疹 (1例) / 190
- (七) 前列腺增生症 (2例) / 191
- (八) 急性尿路感染 (2例) / 195
- (九) 泌尿系结石 (3例) / 199



目录

(十) 腰痛 (1例) / 203

(十一) 遗精 (1例) / 203

五、造血系统疾病 / 205

(一) 再生障碍性贫血 (2例) / 205

(二) 血小板减少性紫癜 (3例) / 208

(三) 慢性白血病 (1例) / 211

六、精神、神经系统疾病 / 213

(一) 神经官能症 (4例) / 213

(二) 神经衰弱 (失眠) (3例) / 218

(三) 脑梗死 (1例) / 222

(四) 脑出血 (1例) / 224

(五) 脑梗死后遗症 (3例) / 226

(六) 面神经炎 (1例) / 230

(七) 三叉神经痛 (1例) / 232

(八) 梅尼埃病 (8例) / 233

(九) 高血压病 (1例) / 243

(十) 颈椎病 (3例) / 244

(十一) 癫痫 (4例) / 249

(十二) 癫狂 (3例) / 253

(十三) 斑秃 (1例) / 257

(十四) 遗尿 (1例) / 258

(十五) 血管神经性头痛 (2例) / 259

七、代谢疾病、风湿性疾病和内分泌系统疾病 / 262

(一) 硬皮病 (1例) / 262

(二) 强直性脊柱炎 (1例) / 264

- (三) 类风湿关节炎 (3例) / 266
- (四) 系统性红斑狼疮 (2例) / 271
- (五) 湿疹 (1例) / 274
- (六) 银屑病 (1例) / 276
- (七) 痛风 (2例) / 277
- (八) 进行性肌营养不良症 (2例) / 280
- (九) 风湿关节炎 (2例) / 283
- (十) 糖尿病 (8例) / 285
- 八、传染性疾病, 小儿疾病 / 294,
 - (一) 感冒 (5例) / 294
 - (二) 麻疹 (1例) / 300
 - (三) 小儿夏季热 (2例) / 301
 - (四) 水痘 (1例) / 304
 - (五) 恙虫病 (1例) / 306
 - (六) 带状疱疹 (1例) / 307
 - (七) 化脓性扁桃体炎 (3例) / 308
- 九、妇科疾病 / 313
 - (一) 功能失调性子宫出血 (5例) / 313
 - (二) 妊娠呕吐 (1例) / 320
 - (三) 盆腔炎 (2例) / 322
 - (四) 宫颈炎 (2例) / 326
 - (五) 子宫肌瘤 (2例) / 329
 - (六) 乳腺增生 (1例) / 332
 - (七) 不孕症 (2例) / 333
 - (八) 先兆流产 (6例) / 335

(九) 围绝经期综合征 (2例) / 341

十、肿瘤 / 345

(一) 消化系肿瘤 (13例) / 345

(二) 肺癌 (4例) / 363

(三) 脑部肿瘤 (2例) / 369

(四) 甲状腺癌 (1例) / 371

(五) 膀胱癌 (1例) / 372



目录

附录 愿为霖雨消苛疾，不畏忙如转磨牛 / 375

记梁剑波教授为中医事业奋斗的六十春秋 / 376

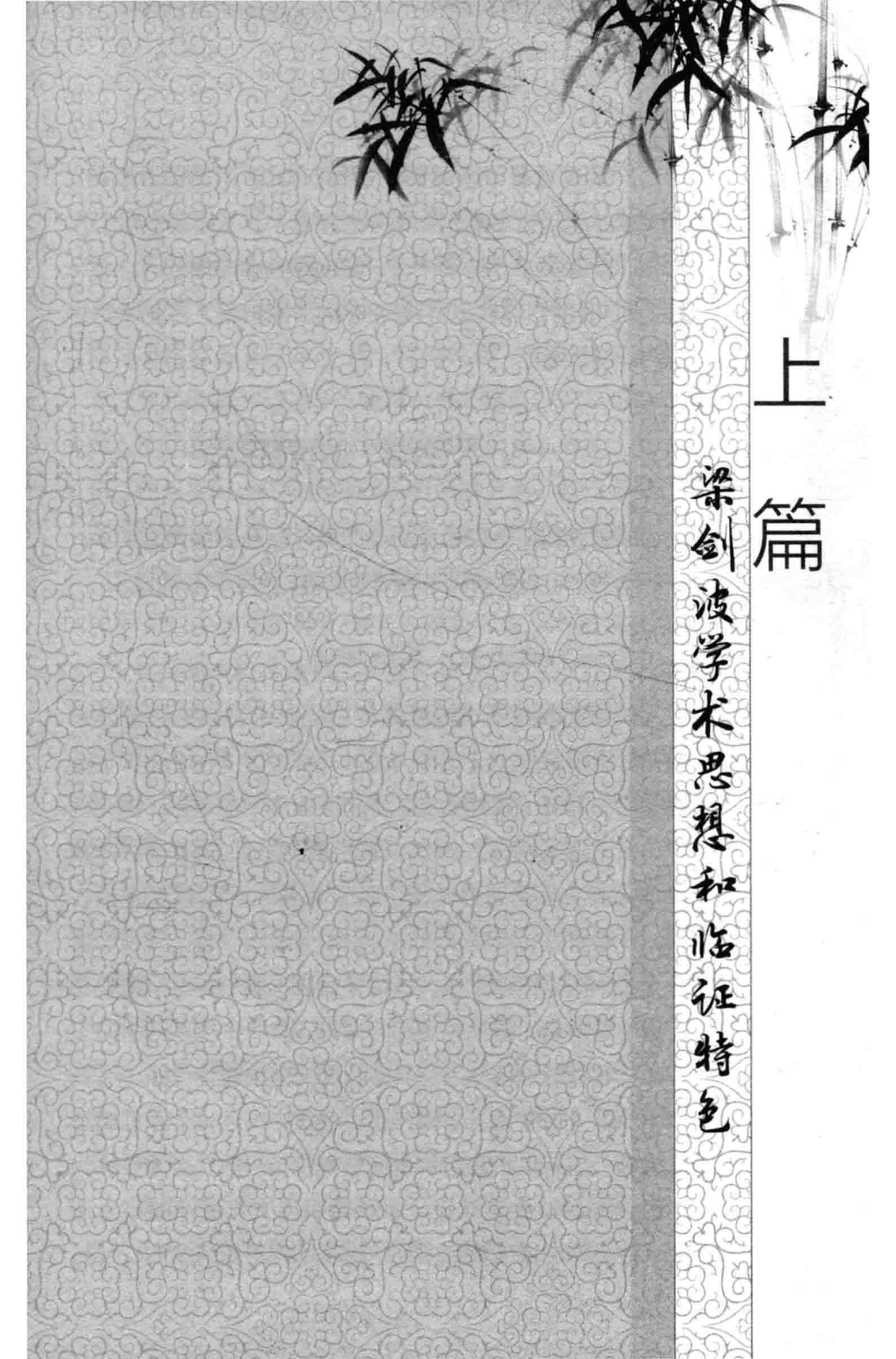
一、著书立说，贡献医林，咨询信访 / 382

二、基础扎实，造诣高深 / 384

三、为振兴中医事业，身体力行务实事 / 387

四、身居副市长，不忘医师责 / 390

五、学识渊博，多才多艺 / 392



上篇

梁剑波学术思想和临证特色

广东省名老中医梁剑波主任医师是中国首批老中医药专家学术经验继承工作指导老师之一，从事医教研工作62年，学验俱丰，治学严谨，临床经验独具特色，自成风格。对中医内、妇、儿科疑难杂病皆可熟就，其学术精华堪为后学借鉴。

一、严治学，承前启后

梁剑波教授不仅自身治学严谨，而且平常课徒授学，一丝不苟。自始至终贯串着继承发扬，承前启后的做法。

（一）细读书，尊经师古

梁剑波教授从小就博览群书，勤求古训，又善博采新知，手不释卷，《黄帝内经》《难经》《伤寒论》《金匱要略》等靡不背诵如流。早年又攻读经史子集，探流溯源，甚至连《周易》一书，亦能通本默诵，医林典故如数家珍，文史根基十分扎实。他常教导：“学医要多读古书，开卷有益；要善读古书，触类旁通。”且又旁及汉唐金元各大医家流派学说，故诠释经义，明晰详尽。他特别注意中医典籍的研究和理论的探讨，称赞中国医药学是东方文化精粹的一部分，有其独特的完整的理论体系，《黄帝内经》《伤寒论》等的典籍，就是中医理论体系以辨证法为核心的结晶，应当认真继承和发扬，他反对那些认为中医只有经验没有理论，不珍惜祖国文化遗产的错误态度，他强调说，《黄帝内经》的基本理论是科学的，《伤

寒论》遵循黄帝内经的理论指导实践，总结和提高了中医的理论体系，可见他对两部典籍有相当深刻的认识和研究。梁剑波教授十分珍视中医典籍，推崇其理论价值，但又不抱残守缺，故步自封，他对《黄帝内经》的某些解释，不落以前各注家千篇一律的见解，例如对“冬伤于寒，春必病温”和“冬不藏精，春必病温”的看法，他摆脱了冬日受了寒邪至春日病温的伏气论点，而从“冬不藏精”此语悟出，冬失固藏和冬病伤寒之人，其气必虚，则冬日邪伏藏如此之久而不发病，由冬历春始行发病的道理。其对古籍研究，学识渊博，可见一斑。例如梁剑波教授所著的《伤寒浅释》一文，就是在他平时熟读《伤寒论》的基础上，通过自己思考、鉴别、分类、归纳，再结合临床实践验证所写成。文中认为伤寒太阳经辨证治“太阳经证，病在表治应从汗解，这是大法。如果用桂枝、麻黄类方而未能达到治疗目的，这不是方药不当，而应从辨证方面考虑。以项强这一症状为例：项脊强痛，这是太阳经脉所过之处引起。误下成结胸，俯仰不舒，亦有项强，这些症状都各自不同”。又再以四肢拘急疼痛来辨：“四肢拘紧疼痛，多为感受风寒之邪，《黄帝内经》谓：‘寒则筋挛骨痛’，大意指此。若热则体舒，是不会拘急的。发热头痛而四肢拘急的，是为太阳证，用桂枝、麻黄是很中‘的’的。如果辨证不清，而归咎‘桂枝’‘麻黄’，那就错了。”其对古籍精髓的研究，可见一斑。

他诲人不倦，扶掖后学。在中医教学上也下了不少的工夫，当年在中山医学院授课时，旁征博引，深入浅出，

令学生听来津津有味，印象深刻，这些都得力于他几十年来研读医经典籍的成就。

（二）勤著述，善于总结

梁剑波教授半个世纪如一日，在繁忙诊疗工作之余，仍坚持每夜灯下笔耕，将其临证心得、读书见解等，写成文字公之于世，因而著述颇丰，其中《医学津梁》一书为其代表作。全书介绍了梁氏家族数代真传的宝贵经验，总结了梁剑波教授数十年临床实践的心血结晶。全书50余万字，共分为：时病、杂病、妇科、儿科、附录五编，以及中风、伤寒、暑证等专论57个栏目。对于中医的理法方药、治疗原则、辨证求因、舌诊脉法均有较为详尽的阐述。书中内容既有前人的见解，又有作者独到的体会。如在《糖尿病与消渴辨治互参》文中论到：“名中医张隐庵治中消证的见解与众不同。张氏认为‘脾不能为胃行其津液，肺不能通调水道而为消渴者，人但知以凉润之药治渴，而不知道脾喜燥而肺恶寒，试观泄泻者必渴，此因水津不能上输而泄，故尔。以燥脾之药治之，水液上升即不知矣。故以凉润治渴，人皆知之，以燥治渴，人所不知也’。张氏治消渴证用七味白术散，这真是知常知变的好例子。”行文中还说到：“近年来对于三消或糖尿病，都是采用西医辨病、中医辨证的方法，无分上中下，先以治肾为急……所谓‘降其心火，滋其肾水，则消渴自止’。采用理中汤送服八味丸，乍看这一法则似乎不太近理，可是却每能中病。”真是旁征博引。这在书中比比皆是，且